

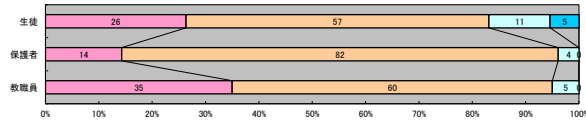
令和元年度 学校評価アンケートのまとめ

一迫商業高等学校

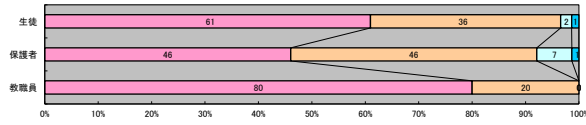
※凡例 よく当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない

I 宮城県公立高等学校共通項目

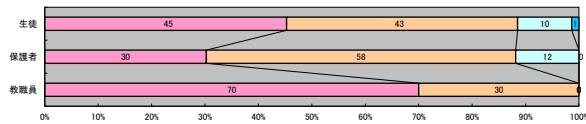
1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）



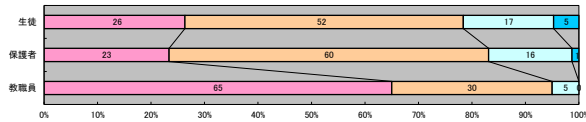
2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）



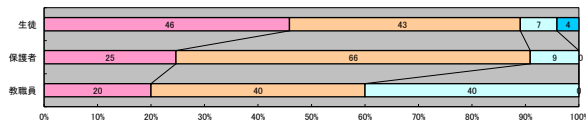
3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）



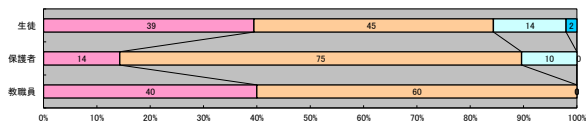
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）



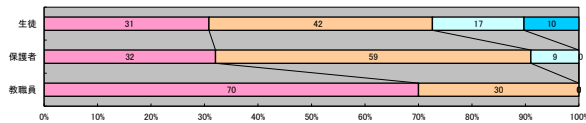
5 部活動は活発に行われている（部活動）



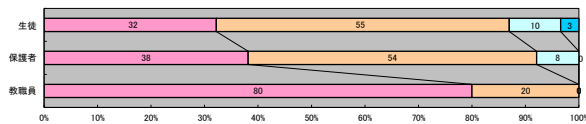
6 生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）



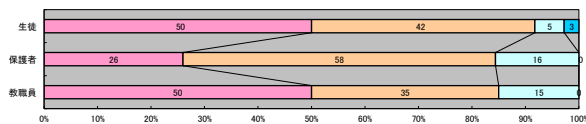
7 有意義な学校行事がある（学校行事）



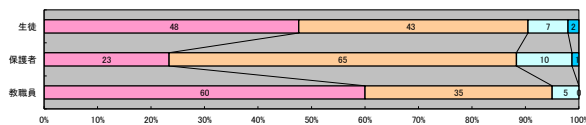
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）



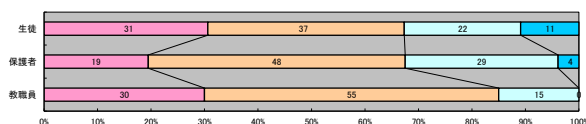
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）



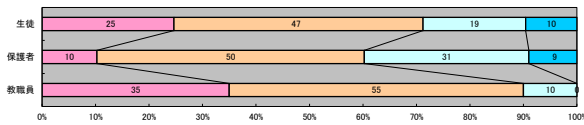
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）



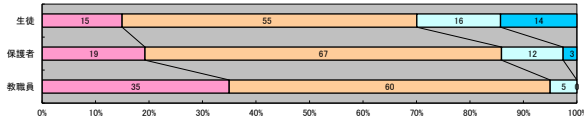
11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ問題・生徒）
学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている（いじめ問題・保護者・職員）



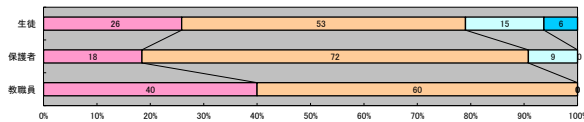
13 学校生活は充実している（総合満足度）



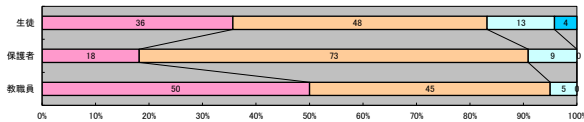
13質問項目、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を合わせると概ね70%を超え、適切な学校運営がおこなわれていると評価できる。特に各項目で生徒・保護者・教職員（以下、3者と表示）すべてが80ポイント以上の項目は項目1（学習指導）、項目2（生徒指導）、項目3（進路指導）、項目6（生徒会活動）、項目8（特色ある学校づくり）、項目9（防災教育）、項目10（開かれた学校づくり）の7項目。平成30年度と比較して項目6（生徒会活動）が増えた。いずれも学校教育の重点指導項目が高評価を得ている。一方で平成30年度評価と比較し評価が下がった項目9「防災教育」3者すべて80ポイントを超えてはいるが教職員が-10ポイント減。防災教育に瑕疵があってはならないのでどのような点に課題があるか確認、改善を進めたい。項目11「施設設備」は3者がマイナス評価、特に保護者は15.8ポイント減。具体的にどのようなニーズがあるか、聞き取りをおこない改善策を講じたい。

II 教育方針と学校経営

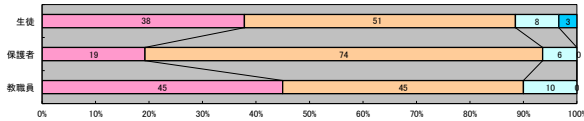
1 本校の教育方針や指導目標は分かりやすく共感できる



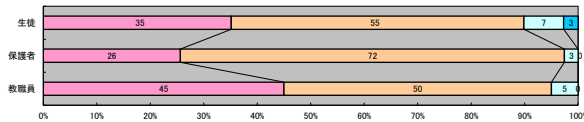
2 本校は、協調と奉仕の精神をもって誠実に責任を果たす生徒を育てようとしている



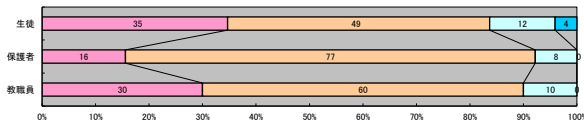
3 本校は、自主的で逞しい実践力のある生徒を育てようとしている



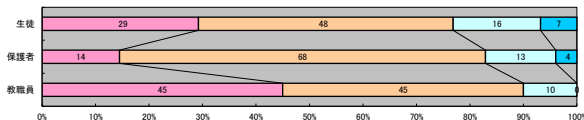
4 本校は、技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める生徒を育てようとしている



5 本校は、豊かな情操と高い道徳心のある生徒を育てようとしている



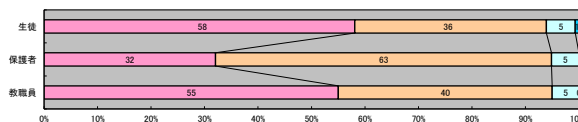
6 全職員が一致団結して教育活動にあたっている



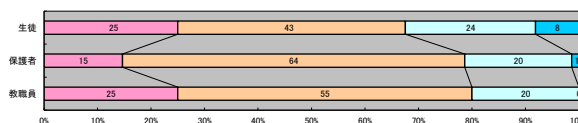
6質問項目、平成30年度と比較してマイナス評価はひとつも無く、すべてプラス評価になっている。本校の教育方針及び指導目標並びに教育実践等が生徒・保護者・教職員に理解され、共感されているものと評価できる。この評価に甘んじることなく、今後も不断に見直しを怠らないようにしていきたい。

Ⅲ 基礎学力の充実向上

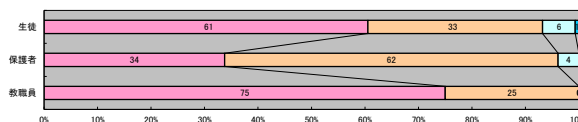
1 本校では、授業日数や時間は十分に確保されている



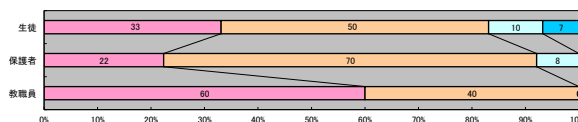
2 本校の先生は、生徒に授業後や週末によく宿題を出している



3 本校では、基礎学力の向上や検定取得に向けて課外や補習などを充分に実施している



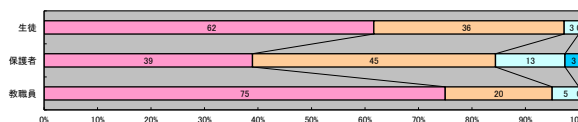
4 本校の学習環境は整っている



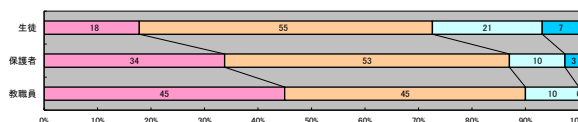
数値は昨年度とほぼ変わらず。ほとんどの項目で「よく当てはまる」「だいたいあてはまる」合わせて8割を超えている。唯一「2.本校の先生は生徒に授業後や週末によく宿題を出している」項目については生徒と保護者が「あまり当てはまらない」「あてはまらない」が2割を超えている。理由として考えられるのは、宿題を家でなく学校でとりくみ保護者に取り組んでいる姿がみえないのではないかとと思われる。また生徒が与えられた課題をきちんと宿題だと認知していない、あるいは宿題の内容について生徒が物足りなさを感じているのではないかと考えられる。今後は宿題に関する指示を徹底するとともに、内容をより精査し、生徒の理解状況に沿った宿題を検討する必要がある。また、全体に保護者の評価が、生徒・教職員より低い傾向がある。理由としては、学校の様子・宿題の量等しっかりと伝わっていない可能性が考えられる。今後は学校の様子等が伝わるような活動をしていきたい。

Ⅳ 規律ある生活習慣の確立

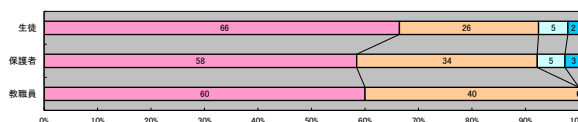
1 本校の生徒は、よくあいさつをする



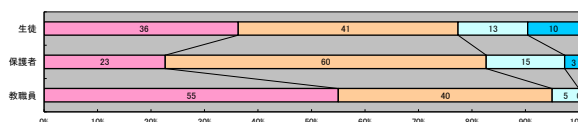
2 本校の生徒は、欠席・遅刻・早退が少ない



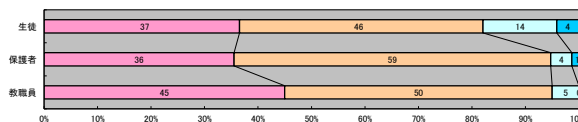
3 本校では、生徒の生活（頭髪や服装を含む）指導を厳しく適切に行っている



4 本校では、いじめや差別を許さず厳しく対応している



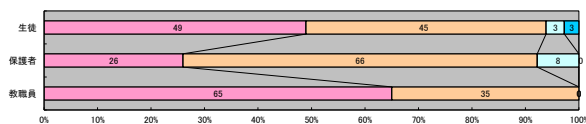
5 本校は、清掃などが徹底されて、きれいで整理されている



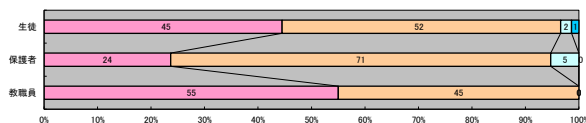
服装および頭髪指導、清掃や整理整頓の項目で保護者と教職員の9割が「よく当てはまる」「当てはまる」と評価している。生徒達も8割が「当てはまる」「よく当てはまる」と自己評価している。学校は引き続き自信を持って現在の指導を継続した方がよい。挨拶についても、概ね良い評価であるが、今後も学校外で好印象を与えられる挨拶の励行が必要であるとする。欠席遅刻早退の項目といじめ対応の項目で7～8割の生徒・保護者が肯定的な評価をしており、指導は現在の路線で継続してよい。しかし学校として、今まで以上の早期かつ適切な対応、生徒および家庭との緊密な連絡を心がける努力が必要である。

V 自主的な進路設計とその実現

1 本校では、生徒に適切な進路情報を提供している



2 本校では、生徒が希望する進路を達成をしている

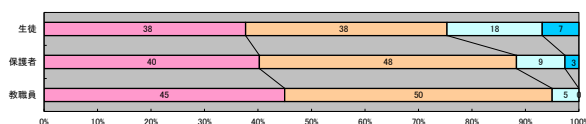


「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の結果から、1の「進路情報の提供」については生徒に関しては90%を上回る結果となった。昨年と比較し情報の発信は行ってきたが、保護者に向けての具体的な学校、就職先の発信は不足していた。2の「希望する進路の達成」についても生徒、保護者ともに同様の結果である。生徒と保護者の望む進路達成の考え方が揃うよう情報提供や情報共有を多くしたい。

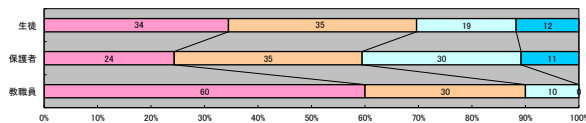
今後、進路行事の精選と検証を進めると同時に、保護者との連携を密にし、入学時から進路を視野に入れた指導を重ね、教員と生徒、保護者が齟齬をきたさないよう取り組み、入学後の挫折や早期離職などをなくすことを目的に指導をすすめていきたい。

VI その他

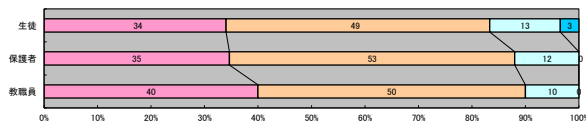
1 本校の職員は、礼儀正しく親切に対応してくれている



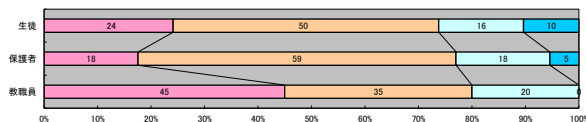
2 本校が実施している栗原版デュアルシステムは知っている



3 本校は、各種のボランティア活動を積極的に行っている



4 本校のホームページは、内容が充実している



項目1では、前年度よりも生徒(-7.7)と保護者(-4.4)のポイントが下がっている。また「あてはまる」と回答した教職員(95.0)と生徒(75.3)のポイントに大きな差(19.7)があり、教職員と生徒との認識の違いが見られた。生徒への対応をより丁寧に礼儀正しく行う必要がある。項目2では、保護者のポイント(59.5)が前年度よりも10.9ポイント上昇している。今年度から両学科で実施していることから、保護者の認知度が上がったものと思われる。項目3では、前年度よりも保護者(+15.3)、教職員(+20.0)のポイントが上昇している。生徒会のゴミ拾い、バイパス除草作業、読み聞かせ活動、JRC委員による活動、「販売実習」の売上金寄付など、本校の活動が多く保護者の目に触れたことが原因として考えられる。項目4では、前年度よりもポイントが上昇し概ね良好である。教務部がホームページの内容を工夫し、こまめに更新を行っていることが要因と考えられる。